

スピリチュアル物語

32話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語は、BRIDGE USAさんよりお引越ししました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。へりと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トーランスマリオット内スターバックス(要予約):1時間 \$60

メール相談:(要予約):majotomoe@gmail.com \$16/1件(Paypal)



「他者との同調?」ウイザットが言うと「同調には光と闇があるんですか?」更にマジョリアルが続ける。「そういうじゃ、光の同調は、当時者同士または第三者に対しても愛に溢れた思いやりのある言動となるが、闇の同調は、特に第三者に対して排除したり攻撃したりという言動を取り勝ちで、それにより強まった連帯意識を真の絆だと勘違いしてしまうこともあれば、或いは自分が仲間外れになることを恐れて、同調しているフリをしてしまう場合もあるんじゃ」マグワートが複雑な表情をして見せた。「解ったぞ。その場に居ない人の悪口で盛り上がる状態だろ?特に

女子…」ウイザットがチラリとマジョリアルの顔色を窺いながら、言葉を飲み込んだ。「ううん、一概には言えないし、女性蔑視の意味は全くないが、多少女子にはそういう傾向があるかも?じゃが、それは扁桃体に関係している可能性もある」「扁桃体?」「ヒトを含む高等脊椎動物の脳内にある情動を司っている器官で、女性は男性の8倍も活発に働くという説があるんじゃ」「情動?」「扁桃体の情動反応には快・不快のどちらかしかなく、それが

…」マジョリアルが不満を湛えた瞳をウイザットに向けながら問う。「恐らくじゃが、快・不快の判断が、『良いか悪いか』、『正しいか間違いか』という尺度となり、「私は悪くない、悪いのはあの人」ということを第三者と共に言い合うことで、感情的同調を得られるからではないかのう。しかし、悪口での同調は、眞の共鳴とは言えんのう



★これまでのお話(1~31話)は魔女ともえのwebで読むことが出来ます。

www.majotomoe.com お話の続きは4月21日号をお楽しみに!